

令和4年度

事業計画書

収支予算書

目 次

第 1 表 事業計画

1 事業計画書.....	1
--------------	---

第 2 表 収支予算

1 収支予算書.....	2 1
2 収支予算書内訳表.....	2 3
3 資金調達及び設備投資の見込みについて.....	2 5

〔参 考〕

1 収支予算書（収支ベース）.....	2 6
---------------------	-----

事 業 計 画 書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

【基本方針】

広島観光コンベンションビューローは、グローバルMICE都市にふさわしいMICEの振興及びインバウンドを中心とする観光の振興に係る施策をより積極的かつ機動的に推進することとしている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、2020年に本市を訪れた外国人観光客は、過去最高を記録した2019年に比し約9割減の20万7千人となり、加えて国内観光客も大幅に減少しており、観光業界をはじめとした地域経済はかつてない厳しい状況となっている。

新型コロナウイルス感染症については、今後も予測が困難な状況が続くものと考えられ、引き続き、共存する環境を想定しながら新しい生活様式に対応した事業展開を行う必要がある。

こうした状況を踏まえ、令和4年度においては、国内外の感染状況やインバウンドの状況を注視しながら、国内観光やMICE需要に迅速かつ的確に対応するとともに、本格的なインバウンドやMICEの回復に備えた持続可能な取組を、当ビューローが持つ強みや独自性を活かしながら、安全・安心を念頭に積極的かつ機動的に推進する。

なお、事業の推進に当たっては、中国運輸局、広島県、広島市及び広島広域都市圏の市町、並びに広島商工会議所をはじめとする経済関係団体・企業及び大学等との緊密な連携を図りながら、地域経済の活性化及び国際相互理解の増進等に寄与する効果的な事業展開を図っていく。

【重点事業】

I MICE振興関係

従来から、広島ならではの魅力を生かしたMICE誘致を実現し、MICEにおける広島の存在感を確立するため、国際会議及び大規模な国内会議をメインターゲットに設定し、積極的に誘致・支援事業に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、MICEを取り巻く環境が大きく変化し、オンライン化など新たな会議スタイルも普及している中、アフターコロナを見据えた本格的なMICEの再開に向けて、セールスプロモーションの強化や誘致・開催を支援するプログラムの充実・強化に取り組む。

1 セールス・プロモーションの強化

(1) マーケティング機能の強化

国際会議協会（以下「ICCA」という。）等から質の高い情報の収集を行い、顧客管理システムを活用し、効率的なセールス活動を行う。また、ホームページの充実に努め、世界に向けた情報発信を行う。

(2) 個別誘致セールスの強化

MICEプランナーズガイド等の誘致ツールを活用し、効率的なセールス活動を行い、新規顧客の掘り起こしに取り組む。

(3) MICE専門見本市への出展

IMEXフランクフルト、IMEX米国、AIMEメルボルン、国際MICEエキスポ（東京）などのMICE専門見本市に継続して出展するとともに、新たにインセンティブセミナー商談会（台北）に出展することにより、国際会議や経済効果の高いインセンティブ旅行の誘致促進を図る。

2 誘致・開催を支援するプログラムの充実・強化

(1) テクニカルビジットの開発・運用

産業界との連携強化を図るとともに、MICEの開催をビジネス交流やイノベーションの機会創出に繋げるため、MICE参加者と産業界などとの交流プログラムの開発・運用を行う。

(2) ユニークベニユーの開発・運用

広島市の「ユニークベニユー等利用促進協議会」に参画し、歴史的建造物や文化施設等での会議の開催など、特別感や地域特性を演出するユニークベニユーの開発・運用を行う。

(3) 大規模会議への支援

レセプション等における伝統芸能の提供、シャトルバス等の運行助成、歓迎用看板の掲出、コロナ禍における検温装置の貸出しなどに加え、新たにエクスカージョン助成、託児サービス助成を行うことにより、広島で開催して良かったと喜んでもらえるような支援に取り組む。

II 観光振興関係

従来から「人とのふれあいがもたらす思い出づくりで、世界中に広島ファンをつくる」という目標を掲げ、観光客の誘致や受入態勢の充実強化に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、引き続き深刻な影響が続く観光業界の復興を支援し地域経済の活性化を図るためにも、国内観光の需要に迅速かつ的確に対応しつつ、本格的なインバウンドの回復に備えた受入態勢の充実・強化や国内外の感染状況等を見極めた上での観光客誘致に積極的に取り組む。

事業の推進に当たっては、

- ① 平和を深く、広島広域都市圏に広く
- ② 人とのつながりによるきずなづくり
- ③ 現場に入って、掘り起こし、育てる

という3つの視点を踏まえ、企画・実践することとする。

1 受入態勢の充実・強化

(1) 新たな観光プロダクトの開発

観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家を掘り起こし、事業者の成熟段階に応じた各種支援を行い、より魅力あるプロダクト開発を推進する。

(2) 広島観光プラットフォームの構築・運用

観光客の利便性を高め、観光施設等の利用及び広域周遊を促進するため、観光施設等が連携して広域周遊における課題解決を図る場となる「観光プラットフォーム」を構築し、運用する。

(3) 川（デルタ）ブランド化事業

「水の都ひろしま」を訴求する川の交通の観光資源化を図るため、観光事業者等による共同事業の造成を促すなど、観光プロダクトの造成を支援する。

(4) 観光案内所等の連携強化及び案内機能の充実・強化

広島市が設置する観光案内所（5か所）や広島広域都市圏内の観光案内所等の連携を強化するとともに、「ひろたびプランナー」の機能等を活用して観光施設の利用促進や広域周遊の促進を図れるよう指導・助言するなど、案内機能を充実・強化する。

2 ビューローが持つ強み・独自性を活かした事業の展開

(1) 街のにぎわいづくり

「広島祭委員会」や「ひろしまライトアップ事業実行委員会」などの実行委員会を運営し、祭りやイベントを継続して実施するとともに、ウィズコロナに対応し、安全・安心に配慮した企画・取組を進め、街のにぎわいを創出する。

(2) フィルム・コミッション事業によるプロモーション

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を積極的に行い、広島発の映像情報の発信等により、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進する。

(3) MICE推進事業によるプロモーション

MICE誘致・支援事業等の実施における都市紹介やポストコンベンションメニューの提案等を通じて、広島の観光都市としての魅力をPRする。

【公益目的事業】

I MICE振興事業

1 情報収集事業

182万4千円

(1) MICE関連機関からの情報収集

90万円

一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（以下「JCCB」という。）の開催意向調査データを活用し、効率的に誘致活動を行う。

また、国際会議やイベントを主催する約100か国1,100団体が加盟する世界最大のコンベンション関係組織であるICCA、JCCB、独立行政法人国際観光振興機構（以下「JNTO」という。）、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）及びインセンティブ旅行誘致に関連するMICE専門家が多く加入しているMPI（meeting professionals international）の会員となり、国際会議はもとよりインセンティブ旅行を含むMICE誘致のため、有益な情報収集を行う。

(2) 顧客管理システムの運用

92万4千円

コンベンション調査やMICE関連機関等から収集した情報を蓄積する顧客管理システムを更新するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行う。

2 MICEの誘致・支援事業

4,846万2千円

(1) 誘致活動の実施

1,209万1千円

ア グローバルMICE強化事業

142万5千円

グローバルMICE都市として、MICE主催者に対する支援を行うとともに、MICE開催地としての広島を広く訴求し、MICEブランドの浸透を図り、MICEの誘致を推進する。

(ア) 会議等誘致活動助成 【新規】

国際会議の開催地を決定する理事会で会議主催者が行うロビー活動などの経費を助成することにより、広島への誘致活動を促進する。

[助成限度額：6万円]

(イ) テクニカルビジットのモデル事業の実施

広島で開催されるMICEの参加者を対象に、地元企業などの産業技術や研究の実地視察及び受入企業との交流を行うテクニカルビジットのモデル事業を実施する。



テクニカルビジット(2019)

(ウ) 誘致ツールの作成

- ・プランナーズガイドの改訂・増刷 300部

(エ) グローバルMICE都市・都市力強化対策本部への職員派遣

グローバルMICE都市12都市及びMICE推進機関等で構成する「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」に参加し、情報交換を行う。

イ 個別誘致活動の実施

533万2千円

国内のMICE主催団体等に対し、誘致活動を行う。

(ア) 首都圏等での活動

主として、首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等に誘致活動を展開する。

(イ) 広島県内での活動

県内の大学及び各教育機関、各種企業・団体等に対し、誘致活動を展開する。

ウ 海外MICE専門見本市における誘致活動

252万8千円

海外で開催される主要なMICE専門見本市に出展し、MICE主催者等に宣伝・誘致活動を行う。

(ア) 「IMEX 2022」への出展

- ・開催時期 令和4年5月31日(火)
～6月2日(木)(予定)
- ・場 所 ドイツ フランクフルト
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー※
約4,000人
出展者 約3,500団体



IMEXの商談(2019)

※ ホステッド・バイヤー：MICE専門見本市に招待された優良なMICE主催者

(イ) 「IMEX America 2022」への出展

- ・開催時期 令和4年10月11日(火)
～13日(木)(予定)
- ・場 所 アメリカ ラスベガス
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー
約3,300人
出展者 約3,500団体



IMEX Americaの商談(2019)

(ウ) 「AIME 2023 メルボルン」への出展(オンライン参加)

- ・開催時期 令和5年3月(予定)
- ・場 所 オーストラリア メルボルン
- ・関係者数 バイヤー 約320人
出展者 約340団体

エ 海外インセンティブ旅行誘致活動 【新規】

75万6千円

台湾(台北)で開催されるインセンティブセミナー商談会に出展し、インセンティブ旅行の宣伝・誘致活動を行う。また併せて、現地の企業等への個別誘致セールスを行う。

(ア) 「インセンティブセミナー商談会（台北）」への出展

- ・開催時期 未定
- ・場 所 台湾 台北
- ・関係者数 訪日インセンティブ旅行取扱旅行業者 約30団体
出展者 約15団体

(イ) ギブアウエイ（記念品）の作成

インセンティブ旅行の参加者におもてなしと歓迎の意を表すため、広島ならではのギブアウエイを作成し提供する。

オ 国際MICEエキスポ（IME2023）への出展 67万7千円

国内唯一のMICE総合見本市・トレードショーである国際MICEエキスポに出展し、MICE開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかける。

- ・開催時期 令和5年2月（予定）
- ・場 所 東京都内
- ・主 催 JNTO及びJCCB
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 約20名
出展者数 約80団体

カ キーパーソンの視察受入 59万円

MICE開催の意向を有するキーパーソン等の視察受入を行い、MICE施設・観光資源・受入態勢等、広島の魅力を紹介・案内することにより、広島での開催を働きかける。

- ・受入者数 年間5人程度

キ 広島産学公連携MICE推進協議会の運営 13万円

「広島産学公連携MICE推進協議会」及び当該協議会内に設置する「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるMICE誘致を推進する。

【広島産学公連携MICE推進協議会】

- ・開催回数 2回

【インセンティブ部会】

- ・開催回数 3回

ク 中国・四国地区コンベンション推進協議会への参画 65万3千円

中国・四国地区のコンベンション推進機関等14団体で構成する中国・四国地区コンベンション推進協議会において、コンベンション等に関する情報の収集・交換及びコンベンション等の推進に関する調整や研究を行う。また、中国・四国地区コンベンション誘致懇談会に出展し、MICE主催者等に宣伝・誘致活動を行う。

(ア) 総会への参加

- ・開催時期 令和4年7月（予定）
- ・場 所 米子市内

(イ) コンベンション誘致懇談会への出展

- ・開催時期 令和4年12月（予定）
- ・場 所 東京都内



コンベンション誘致懇談会(2019)

(2) 支援活動の実施

3,637万1千円

ア コンベンション誘致助成事業

2,960万円

コンベンション主催者に対し開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進する。

【助成制度の概要】

区 分	参加者数	参加国数	開催期間	助成限度額
国際会議	100人以上200人未満	3か国以上	2日間以上	30万円
	200人以上	3か国以上	2日間以上	60万円
	300人以上	5か国以上	3日間以上	300万円
国内会議	全国的なもので1,000人以上又は延べ2,500人以上	-	-	300万円

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

500万8千円（※）

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を促進する。

〔貸付限度額：国際会議 300万円、国内会議 200万円〕

※ うち500万円は、広島市からの借入金であるため支援活動の実施に係る事業費には含めていない。

ウ 大規模会議等への支援

676万3千円

大規模会議等に対して、伝統芸能等の提供、シャトルバス等の運行助成、広島観光親善大使や外国語ボランティアガイドの派遣、歓迎用看板等の掲出及び記念品等の提供を行い、参加者に対し歓迎の意を表す。

また、コロナ禍において、会議主催者へ感染拡大防止のための規制等関連情報の発信や検温装置の貸出し、会議参加者へのロゴマーク付きマスクの配布を引き続き行う。

さらに、広島への現地参加を促すため、エクスカーションや託児サービスに対する助成制度を新たに設ける。

- (ア) レセプション等における伝統芸能等の提供
会議及びインセンティブ旅行参加者をもてなすための神楽等の伝統芸能等の提供
〔提供限度：30万円相当〕



レセプションにおける神楽の公演

- (イ) シャトルバス等の運行助成

会議運営の効率性を確保するための会場間又は会場と交通拠点間のシャトルバス等の運行に対する助成

〔助成限度額：30万円〕

- (ウ) エクスカーション助成【新規】

広島の魅力をアピールし、現地参加を促すために実施するエクスカーションに対する助成

〔助成限度額：10万円〕

※ エクスカーション：大会開催中や開催後に企画される視察旅行等

(エ) 託児サービス助成【新規】

子育て中であっても会議に参加しやすい環境づくりに取り組むために実施する参加者向け託児サービスに対する助成

[助成限度額：5万円]

(オ) 広島観光親善大使の派遣

開会式等での式典補助及び広島のプロモーション等の実施

(カ) 外国語ボランティアガイドの派遣

国際会議での観光情報の提供

(キ) 歓迎用看板等の掲出

- ・掲出場所 JR広島駅及び広島空港
- ・掲出対象 国際会議及び大規模国内会議

(ク) 記念品等の提供

- ・コンGRESバッグ（35,000枚）
- ・グルメ&ナイトガイド（55,000部）

(ケ) コロナ禍での会議開催支援

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための規制等関連情報の発信
- ・検温装置の貸出し及びロゴマーク付きマスクの配布



広島観光親善大使による広島のプロモーション

3 広報・宣伝事業

463万4千円

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

170万7千円

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行う。

- ・発行回数 年4回
- ・発行部数 1回当たり7,200部

(2) ホームページの運用

292万7千円

ア MICE施設情報及び誘致支援内容等に関する情報の提供

イ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等をまとめたカレンダーを毎月更新し、ホームページ上で公開する。

4 調査・企画事業

63万7千円

(1) 経済波及効果調査の実施

4万円

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出する。

- (2) 観光・コンベンションセミナーの開催
コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを、広島商工会議所と共催で開催し、観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図る。

・開催時期 令和5年2月予定

59万7千円



セミナー（2021年2月）

II 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業

108万3千円

(1) 食の多様化に対応できる飲食店の増強

25万円

広島を訪れるベジタリアンの満足度向上を図るため、ベジタリアンメニューを提供する飲食店マップが閲覧されやすい環境を整備する。

(2) 広島観光プラットフォームの構築・運用【新規】

4万円

観光客の利便性を高め、観光施設等の利用及び広域周遊を促進し、滞在時間の延長と消費拡大を図るため、観光施設等が連携して広域周遊における課題解決を図る場となる「観光プラットフォーム」を構築し、運用する。

『観光プラットフォーム』概念図



(3) ひろたびプランナーの運営

70万円

広島広域観光情報サイト「ひろたび」の一機能として運用していた「ひろたびプランナー」を独立サイトとして運用する。

同サイトの「旅の提案」機能を活用することにより、観光客の利便性を高め、観光施設等の利用及び広域周遊を促進し、滞在時間の延長と消費拡大を図る。

「旅の提案」機能

- ① お気に入りの観光施設等を選び自分好みにカスタマイズできる機能
行きたい場所をピックアップするだけで、自動で最適な順番に並び替え、交通機関の案内をするなど、誰でも簡単に自分好みの周遊プランが作れる機能。
- ② 周遊コースを自動で作成するAI機能
2時間コース、半日観光コース、1日観光コース、歴史を中心に自然も満喫したい、など所要時間やその時の気分にあったコースを自動作成してくれる機能。



(4) インバウンド事業道場の開催

9万3千円

観光事業者による各種事業の取組を強化するため、人的交流ができる場を提供し、最新情報の共有や新たなビジネスの創造等を図る。

- ・回数 セミナー・情報交換会 年4回

2 観光資源整備・開発事業

326万9千円

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営

1万5千円

広島市の観光振興に関して、観光関係者が連携して振興策を協議し、活力のある広島経済の創造に資する。

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施

60万円

船舶事業者等で構成する実行委員会の事務局として、広島湾一帯を新たな観光ゾーンとして定着させるため、「広島湾ナイトクルージング」（6航路）を実施する。

- ・実施期間 令和4年7月16日（土）～
9月30日（金）（77日間）

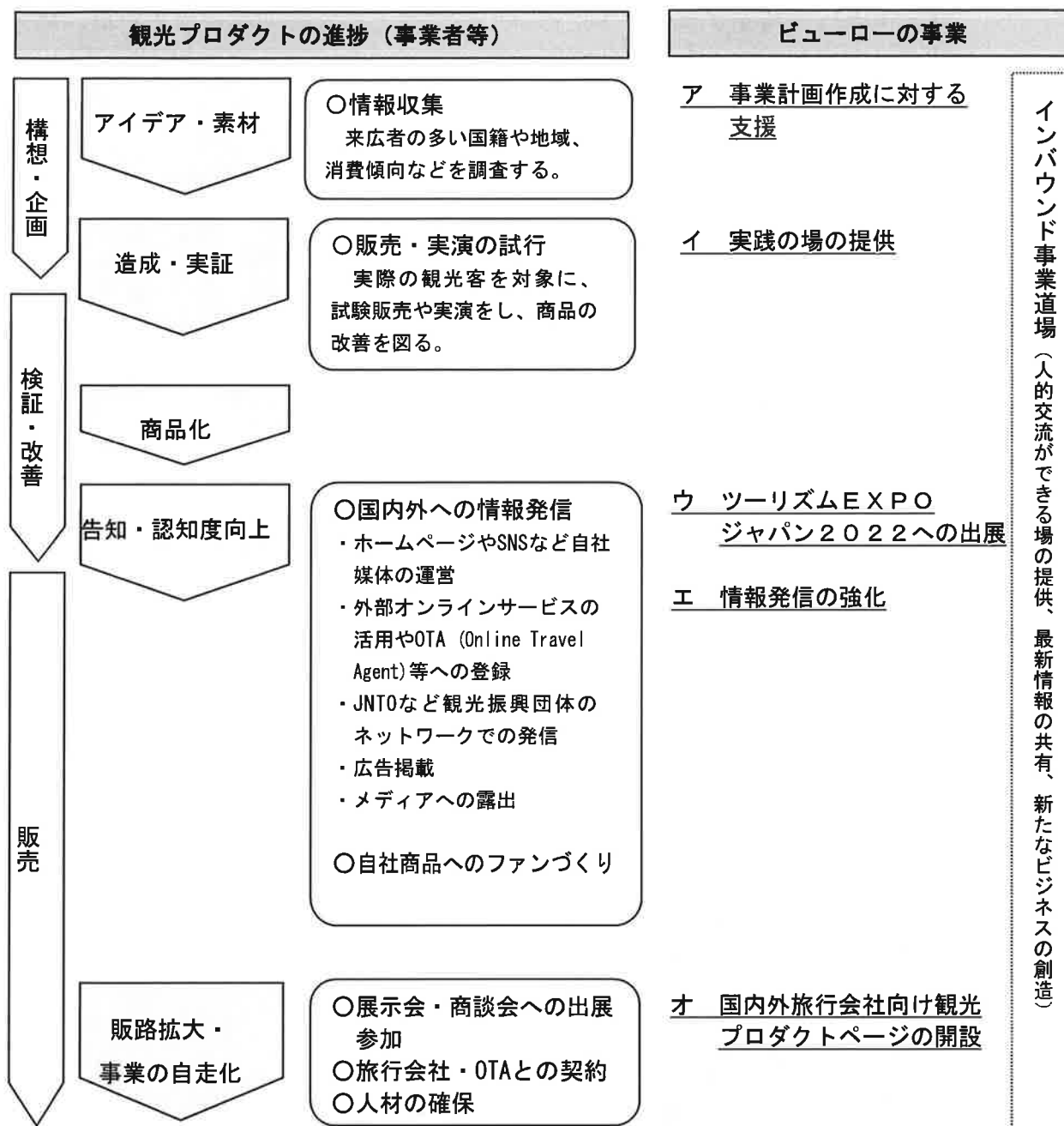


(3) 観光プロダクトの開発

178万円

広島を訪れる観光客の満足度を上げ周遊促進や滞在時間の延長を図るため、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家に対し、観光プロダクト開発の事業計画作成や試行、マーケティング、広報等の支援を行う。

(事業のイメージ)



ア 事業計画作成に対する支援

観光プロダクトの事業化に必要なターゲット設定、商品化計画、広報PR計画等具体的な事業計画を作成するにあたり、職員による相談、助言を行うとともに、関係機関や関連事業者間の紹介、公的な施策・制度や公募案件等の情報提供を行う。

イ 実践の場の提供

観光プロダクトの販売を目指す事業者に対し、実際に観光客等を想定した試行する場を提供し、一緒に実施内容、販売手法の振り返りを行い、改善を促すことによって商品化を支援する。

ウ ツーリズムEXPOジャパン2022への出展

商品化された観光プロダクトについて販路拡大や顧客開拓を図るため、見本市に出展し国内外の旅行会社等に広報を行う。

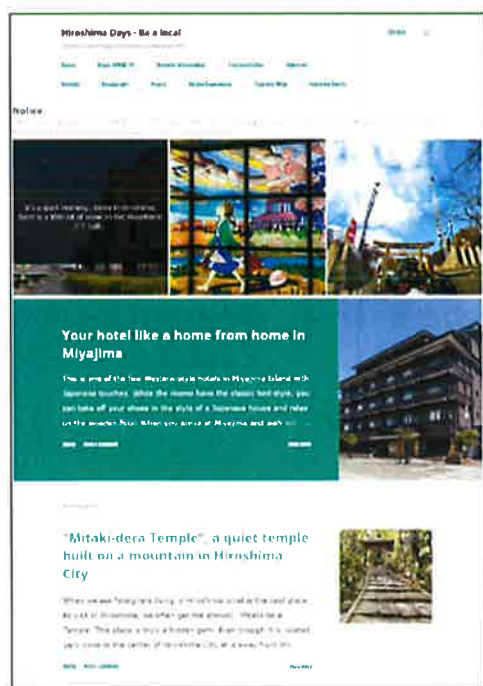
- ・開催時期 令和4年9月
- ・開催場所 東京ビッグサイト



エ 情報発信の強化

訪日旅行前（旅マエ）及び旅行中（旅ナカ）の外国人観光客に向けた観光プロダクトの情報発信を強化する。

- ・J N T Oを通じた海外への情報発信
- ・英語版ブログ「Hiroshima Days – Be a local」やS N Sでの情報発信



英語版ブログ「Hiroshima Days – Be a local」



J N T Oを通じた情報発信（スペインマドリッド事務所）

オ 国内外旅行会社向け観光プロダクトページの開設【新規】

広島市及び近隣市町の観光プロダクトの販路を拡大するため、広島観光コンベンションビューローのホームページ上に国内外の旅行会社等向けの観光プロダクトを紹介するページを新たに開設する。

- ・言語：日本語、英語
- ・掲載プロダクト数：50件

(4) 川（デルタ）ブランド化事業【新規】

87万4千円

「水の都ひろしま」を訴求する川の交通の観光資源化を図るため、観光事業者等による共同事業の造成を促し、旅行会社等に対する広報や体験事業の実施等により、新たな観光プロダクトの造成を支援する。

3 観光宣伝・誘致活動推進事業

917万7千円

(1) 観光客誘致プロモーション活動

128万7千円

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

事業名	時期	場所
ツーリズムEXPOジャパン2022への参加	令和4年9月	東京
宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊への参加	令和4年12月	東京

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

VISIT JAPAN トラベル&MICEマートを始めとする各種インバウンドフォーラムや各種情報交換会に参加し、セールス活動及び情報発信等を行うことにより、広島への外国人観光客誘致の一層の推進を図る。

また、JNTOのロサンゼルス、シドニー、パリなど24の海外事務所を情報拠点として活用し、現地の旅行会社や一般消費者へ広島のPRを行うとともに、マーケット情報の収集を行う。

事業名	時期	場所
VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2022への参加	令和4年9月	東京
JNTOインバウンド旅行振興フォーラムへの参加	未定	東京
中国地方インバウンドフォーラムへの参加	令和4年9月	山口



「ツーリズムEXPOジャパン2019」
ひろしま・せとうちブース



首都圏観光宣伝隊による街頭宣伝
(JR品川駅) (2019)



VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2019での商談

ウ SNSによる情報発信

Twitter、Facebook及びInstagramを活用し、国内外へ最新情報を始めとする様々な情報を発信することにより、広島への観光客誘致を推進する。

(2) 地域観光の推進

50万4千円

観光情報を発信する祭り・イベント等を支援し、地域観光の推進を図る。

ア 第33回湯の山温泉桜まつり

・開催時期 令和4年4月初旬

イ 第30回湯来温泉ホテルまつり

・開催時期 令和4年6月下旬

(3) 観光宣伝物作成

456万5千円

発地型パンフレット「きんさい ひろしま」及び着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、JNTOの海外事務所（24か所、年3回提供）、市内外の観光案内所、宿泊施設、商業施設などに配布することで、広島への観光客誘致を推進する。

パンフレットの名称	言語
きんさい ひろしま	日本語、英語
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語、英語、中国語（簡体字版・繁体字版）、ハングル等（全10言語11表記対応）



きんさい ひろしま



ようこそ！広島へ観光ガイドマップ

(4) 親善交流

73万4千円

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政・メディア・観光協会等関係機関への観光PRを実施することで、都市間の親善交流を図る。

事業名	時期	場所
第33回浜田市親善訪問	令和4年8月	浜田市
第40回沖縄親善訪問	令和4年8月	沖縄市
第41回北広島市親善訪問	令和4年9月	北広島市



浜田市“石州浜っ子夏まつり”
で観光PR (2019)



“沖縄全島エイサーまつり”
で観光PR (2019)



上野北広島市長を表敬訪問(2019)

(5) 広島観光親善大使による観光宣伝活動

208万7千円

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使を選考し、観光関連事業において観光PRを行うとともに、広島観光親善大使ブログ等SNSによる情報発信を行い、広島への観光客誘致を推進する。

- ・人数 3人
- ・交代時期 令和4年11月
(任期1年間)



広島観光親善大使 (2021)



大使ブログ



大使フェイスブック



4 観光施設管理運営等受託事業

7,300万9千円

(1) 観光案内所の運営

1,443万3千円

ア 紙屋町地下街（シャレオ）内観光案内所の運営

運営時間 11:00～17:00（年中無休）

※当観光案内所は、JNTO認定外国人観光案内所のカテゴリー2（少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供）となっている。

イ 広島市観光案内所の総合的な運営支援

広島市が設置する全ての観光案内所（5か所）の機能向上と連携促進を図るため、総合的な運営支援を行う。

- ・広島市観光案内所間の情報共有による案内サービスの充実
- ・広島市観光案内所スタッフ間の交流促進による運営の円滑化
- ・広島市観光案内所スタッフの資質向上を図ることによる案内サービスのレベルの向上
- ・広島市観光案内所における「ひろたびプランナー」を活用した旅の提案の充実

※広島市観光案内所：広島駅総合案内所、バスセンター総合案内所、
広島港総合案内所、平和記念公園レストハウス観光案内所、
紙屋町地下街（シャレオ）内観光案内所

ウ 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化

コミュニケーションツール“Slack”を活用し、タイムリーな観光情報の共有などを行うことにより、観光客の利便性の向上や相互送客を図り、観光客に満足と安心を与える環境を整備するとともに、広域都市圏内での周遊を促進する。

(2) 来広観光客等動向調査

13万1千円

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集し、広島への観光客誘致の推進に活用する。

ア 来広観光客アンケート調査

- ・実施回数 年4回
- ・調査予定数 約1,000人

イ 入込観光客調査

広島市内の宿泊・観光施設及び交通機関等を対象に利用状況調査を行う。

- ・調査予定数 約300施設・機関

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

3,008万2千円

「広島祭委員会」、「ひろしまライトアップ事業実行委員会」の事務局分室を設置し、下記の事業を開催することにより、広島への観光客誘致を推進する。

事業名		時期
祭 委 員 会	第45回ひろしまフラワーフェスティバル	5月3日～5日
	大文字まつり	5月28日・29日
	七夕まつり	7月1日～10日
	花	中止
	広島みなと夢花火大会	
	火	未定（夏頃を予定）
	広島ドリーム花火2022	
	ピースメッセージとうろう流し	8月6日
	広島城大菊花展	10月29日～11月13日
ひろしまドリミネーション2022		11月17日～1月3日



ひろしまフラワーフェスティバル



広島ドリーム花火



広島城大菊花展



ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営

764万円

広島県と広島市が共同運営するひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」において、国内外へ最新情報を発信し広島への観光客誘致を推進する。

ひろしま公式観光サイト「Dive! Hiroshima」の概要

- ・運営主体 広島県（広島県観光連盟）・広島市共同運営
- ・対応言語 日本語/英語/フランス語/ドイツ語/中国語(繁体字、簡体字)/韓国語/タイ語
- ・情報掲載エリア 広島県全市町+山口県・島根県の一部(広島広域都市圏)
+愛媛県の一部（広島県観光連盟会員）

(5) フィルム・コミッション事業の運営

1,818万2千円

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進する。

ア ロケ撮影の誘致

区分	事業名	時期	場所
映像関連イベント	ジャパン・コンテンツ・ショークース(東京国際映画祭関連)への参加	令和4年11月	東京
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	令和4年11月	広島
	ジャパン・フィルムコミッション(JFC)全国ロケ地フェアへの出展	令和5年1月	東京
	映像制作者訪問等による誘致活動	随時	東京ほか



広島国際映画祭 (2021)



ロケ地フェア (2021)

イ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援する。



ロケ支援映画「ホームステイ」の撮影風景 (2020)

ウ ロケ撮影支援作品を活用したプロモーション活動・ロケ撮影環境の整備

市民に対し、ロケ撮影に関する講演会やパネル展の開催及びメールマガジンによる情報発信並びにロケ地マップ作製やロケ地巡り等を行い、フィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体との連携を図り、ロケ撮影のしやすい環境づくりを行う。

また、広く国内外に対し、ロケ地マップの活用及びロケ撮影に関する情報発信等のプロモーション活動を行い、国内外からの観光客誘致を図る。

エ 映像コンテンツ販売促進の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進を支援する。

オ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミSSIONナース協会(AFCI)、アジア・フィルムコミMISSION・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミMISSION(JFC)、フィルム・コミMISSION中国ブロック会議に参加することなどにより、フィルム・コミMISSION事業に関する意見交換や情報収集を行う。

また、近隣地域のフィルム・コミMISSIONや自治体等と連携したロケ撮影誘致やロケ撮影支援等を行う。

【参考】

1 広島フィルム・コミッション（F C）の誘致活動の特色

映画監督、プロデューサー等の映像制作者が一堂に集う国内外のトレードショーや映画祭を面談の機会ととらえ、映像制作者のアポイントを取って個別にロケ撮影誘致活動を行っている。このスタイルで作られた映像制作者との新たなコネクションを活かして、さらに面談の機会を増やしていく広島F C独自の誘致戦略により、これまで数々のロケ誘致の実績を上げてきた。

また、映像制作者とのコネクションを活かして広島に関心を持ってもらい、ロケハン～ロケ撮影～作品完成を経て、毎年秋に広島で開催される「広島国際映画祭」での上映で、地元広島に作品を披露するサイクルが確立されていることが広島F Cの強みになっている。

2 各映像関連イベントの内容

(1) ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連）

国内最大の映画祭の関連イベントであり、国内外から多数の映像制作関係者が来場している。

(2) 広島国際映画祭

ロケ撮影の支援をした作品を披露できる場として、また、ロケ撮影して欲しい監督を招聘できる場として、広島F Cのロケ誘致戦略上重要な役割を果たしている。

(3) J F C全国ロケ地フェア

多くの国内F Cが加入しているジャパン・フィルムコミッションが主催する全国のロケ地を紹介するイベントである。

3 フィルム・コミッション事業の効果

(1) 直接的経済効果・・・ロケ撮影時の宿泊費、車両代、交通費等の消費

令和2年度の広島F C支援作品ロケ撮影消費額計5,100万円〈主な事例：映画「孤狼の血LEVEL2」600万円（ロケ38日、スタッフ50名）、映画「ドライブ・マイ・カー」1,910万円（ロケ23日、スタッフ45名）、映画「吟ずる者たち」1,200万円（ロケ15日、スタッフ50名）〉

(2) 間接的経済効果・・・来広観光客の増加

令和2年度広島市来訪観光客アンケートの来広動機「広島を題材・ロケ地とした映画・テレビを見て」（2.27%）

(6) 観光宣伝物作成

254万1千円

街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」などで配布する観光パンフレットを作成する。

- ・名 称 ようこそ！広島へ観光ガイドマップ
- ・対応言語 日本語、英語、中国語（簡体字版・繁体字版）、ハングル等（全10言語11表記対応）

【その他】

I その他事業

1, 207万6千円

1 賛助会員向け事業

159万9千円

(1) 会報の発行

29万8千円

国際会議等の誘致・開催支援状況や、各種観光事業等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行う。

- ・発行回数 年12回
- ・発行部数 1回当たり約500部

(2) 優良従業員表彰及び賛助会員交流会の実施

130万1千円

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光振興事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図る。また、併せて賛助会員交流会を開催し、賛助会員同士の交流を深める。

- ・開催時期 令和5年2月



2 職員の研修事業

99万6千円

JNTOやJCCB等が主催する実務担当職員を対象とした研修会等に職員を参加させ、コンベンション誘致や開催ノウハウを習得する。

主な研修会	時 期	場所（予定）
MICEセミナー（初任者対象）	令和4年 5月	東京都
MICEセミナー（上級者対象）	令和5年 1月	東京都
JCCB人材育成セミナー（実務者対象）	令和4年12月	東京都

3 観光資源の維持管理

948万1千円

観光ライトアップ設備(15か所)、観光サイン(628基)及び「灯和の径」(57灯)等を維持管理する。

第2表 収支予算

1 収支予算書

収 支 予 算 書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	13,124	12,964	160
② 受取会費			
賛助会費受取会費	10,996	11,360	△ 364
③ 事業収益	85,604	95,110	△ 9,506
広告事業収益	2,570	3,180	△ 610
観光親善大使派遣事業収益	544	544	0
広島市受託収益	82,490	91,386	△ 8,896
④ 受取負担金			
受取負担金	450	2,650	△ 2,200
⑤ 受取補助金等			
受取広島市補助金	238,280	247,864	△ 9,584
経常収益計	348,454	369,948	△ 21,494
(2) 経常費用			
① 事業費	308,892	318,519	△ 9,627
役員報酬	8,108	8,091	17
給料手当等	158,793	152,324	6,469
賞与引当金繰入額	8,685	8,419	266
退職給付費用	308	308	0
福利厚生費	31,558	30,919	639
賃金	2,050	5,300	△ 3,250
報償費	1,285	1,529	△ 244
普通旅費	6,842	6,245	597
消耗品費等	4,178	4,679	△ 501
燃料費	266	273	△ 7
食糧費	1,334	1,205	129
光熱水費	957	1,031	△ 74
修繕料	519	612	△ 93
通信運搬費	2,489	2,526	△ 37
手数料等	918	600	318
保険料	343	367	△ 24
減価償却費	279	0	279
委託料	20,916	30,748	△ 9,832
使用料及び賃借料	4,894	8,816	△ 3,922
備品購入費	0	1,280	△ 1,280
負担金、補助及び交付金	47,364	46,581	783
公課費	6,806	6,666	140

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
② 管理費	45,526	57,345	△ 11,819
役員報酬	7,047	7,033	14
給料手当等	11,597	11,740	△ 143
賞与引当金繰入額	998	1,003	△ 5
退職給付費用	6,737	6,968	△ 231
福利厚生費	4,092	4,109	△ 17
賃金	1,687	1,586	101
報償費	228	114	114
普通旅費	127	110	17
交際費	30	30	0
消耗品費等	357	357	0
食糧費	71	41	30
光熱水費	0	1,133	△ 1,133
通信運搬費	1,111	1,027	84
手数料等	548	657	△ 109
委託料	1,216	7,818	△ 6,602
使用料及び賃借料	5,857	6,961	△ 1,104
備品購入費	0	4,555	△ 4,555
負担金、補助及び交付金	3,736	2,016	1,720
公課費	87	87	0
経常費用計	354,418	375,864	△ 21,446
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,964	△ 5,916	△ 48
当期経常増減額	△ 5,964	△ 5,916	△ 48
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,964	△ 5,916	△ 48
当期一般正味財産増減額	△ 5,964	△ 5,916	△ 48
一般正味財産期首残高	△ 81,244	△ 76,803	△ 4,441
一般正味財産期末残高	△ 87,208	△ 82,719	△ 4,489
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	977,800	977,800	0
指定正味財産期末残高	977,800	977,800	0
III 正味財産期末残高	890,592	895,081	△ 4,489

2 収支予算書内訳表

収支予算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

令和4年度

科	目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計	
		MICE振興事業		観光振興事業	小計	インターネット商店運営事業	その他事業				小計
I	一般正味財産増減の部										
1	経常増減の部										
(1)	経常収益										
①	基本財産運用益	8,977	2,664		11,641		761	722		13,124	
②	基本財産受取利息										
③	受取会費		8,952		8,952		1,384	660		10,996	
④	賛助会費受取会費	2,052	74,071		76,123		9,481			85,604	
⑤	事業収益	2,052	518		2,570					2,570	
⑥	広告事業収益		544		544					544	
⑦	観光親善大使派遣事業収益		73,009		73,009		9,481			82,490	
⑧	広島市受託収益										
⑨	受取負担金						450			450	
⑩	受取負担金										
⑪	受取補助金等										
⑫	受取広島市補助金	117,958	81,863		199,821			38,459		238,280	
⑬	経常収益計	128,987	167,550		296,537	0	12,076	39,841	0	348,454	
(2)	経常費用										
①	事業費										
②	役員報酬	129,266	167,550		296,816		12,076			308,892	
③	給料手当等	3,561	4,547		8,108					8,108	
④	賞与引当金繰入額	50,094	103,590		153,684		5,109			158,793	
⑤	賞与引当金繰入額	2,969	5,445		8,414		271			8,685	
⑥	退職給付費用	96	212		308					308	
⑦	福利厚生費	10,379	20,318		30,697		861			31,558	
⑧	賃金	1,258	792		2,050					2,050	
⑨	報償費	337	948		1,285					1,285	
⑩	普通旅費	4,557	1,503		6,060		782			6,842	
⑪	消耗品費等	2,606	1,319		3,925		253			4,178	
⑫	燃料費	145	121		266					266	
⑬	食糧費	414	170		584		750			1,334	
⑭	光熱水費						957			957	
⑮	修繕料	43	121		164		355			519	
⑯	通信運搬費	1,101	1,140		2,241		248			2,489	
⑰	手数料等	320	598		918					918	
⑱	保険料	127	216		343					343	
⑲	減価償却費	279			279					279	
⑳	委託料	6,250	13,115		19,365		1,551			20,916	
㉑	使用料及び賃借料	1,520	3,274		4,794		100			4,894	
㉒	負担金、補助及び交付金	43,171	3,979		47,150		214			47,364	
㉓	公課費	39	6,142		6,181		625			6,806	

科	目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		MICE振興事業	観光振興事業	小計	レストラン売店運営事業	その他事業	小計			
②	管理費	0	0					45,526		45,526
	役員報酬							7,047		7,047
	給料手当等							11,597		11,597
	賞与引当金繰入額							998		998
	退職給付費用							6,737		6,737
	福利厚生費							4,092		4,092
	賃金							1,687		1,687
	報償費							228		228
	普通旅費							127		127
	交際費							30		30
	消耗品費等							357		357
	食糧費							71		71
	通信運搬費							1,111		1,111
	手数料等							548		548
	委託料							1,216		1,216
	使用料及び賃借料							5,857		5,857
	負担金、補助及び交付金							3,736		3,736
	公課費							87		87
	経常費用計	129,266	167,550	296,816	0	12,076	12,076	45,526	0	354,418
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 279	0	△ 279	0	0	0	△ 5,685	0	△ 5,964
	当期経常増減額	△ 279	0	△ 279	0	0	0	△ 5,685	0	△ 5,964
	税引前当期一般正味財産増減額	△ 279	0	△ 279	0	0	0	△ 5,685	0	△ 5,964
	当期一般正味財産増減額	△ 279	0	△ 279	0	0	0	△ 5,685	0	△ 5,964
	一般正味財産期首残高	8,227	△ 11,317	△ 3,090	20,677	△ 58	20,619	△ 98,773		△ 81,244
	一般正味財産期末残高	7,948	△ 11,317	△ 3,369	20,677	△ 58	20,619	△ 104,458	0	△ 87,208
II	指定正味財産増減の部									
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	867,309	0	867,309	0	56,712	56,712	53,779		977,800
	指定正味財産期末残高	867,309	0	867,309	0	56,712	56,712	53,779	0	977,800
III	正味財産期末残高	875,257	△ 11,317	863,940	20,677	56,654	77,331	△ 50,679	0	890,592

3 資金調達及び設備投資の見込みについて
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 資金調達の見込みについて

事業名	借入先	借入期間	借入限度額 (千円)	目 的
コンベンション開催 準備資金貸付事業	広島市	2年以内	5, 0 0 0	コンベンション開催準備資金 の貸付け

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

[参考]

収 支 予 算 書 (収支ベース)
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基 本 財 産 利 息 収 入	13,124	12,964	160	
(2) 会費収入				
① 賛 助 会 費 収 入	10,996	11,360	△ 364	
(3) 事業収入	3,020	5,830	△ 2,810	
① 広 告 収 入	2,570	3,180	△ 610	観光プロダクトフリー ペーパー広告収入等の減
② 負 担 金 収 入	450	2,650	△ 2,200	観光客受入ビジネスフェ ア出展料等の減
(4) 補助金収入				
① 広 島 市 補 助 金 収 入	238,280	247,864	△ 9,584	事務所移転経費等の減
(5) 受託事業収入				
① 広 島 市 受 託 事 業 収 入	82,490	91,386	△ 8,896	ホームページの運営受託 事業収入等の減
(6) 雑収入				
① 雑 収 入	544	544	0	
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金 貸 付 金 返 還 収 入	0	9,000	△ 9,000	主催者からの貸付金返還 収入の減
事業活動収入計	348,454	378,948	△ 30,494	
2 事業活動支出				
(1) MICE振興事業費支出	128,987	129,051	△ 64	
① 情 報 収 集 事 業 費 支 出	1,824	1,803	21	
② MICEの誘致・支援事業費支出	48,462	48,583	△ 121	
③ 広 報 ・ 宣 伝 事 業 費 支 出	4,634	4,634	0	
④ 調 査 ・ 企 画 事 業 費 支 出	637	660	△ 23	
⑤ 事 務 費 支 出	972	2,350	△ 1,378	公用車購入費の減
⑥ 人 件 費 支 出	72,458	71,021	1,437	人事異動による増
(2) 観光振興事業費支出	94,541	95,363	△ 822	
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	1,083	3,511	△ 2,428	観光客受入ビジネスフェ ア事業費等の減
② 観光資源整備・開発事業費支出	3,269	2,821	448	川(デルタ)ブランド化事 業費(新規)の増
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	9,177	10,610	△ 1,433	観光宣伝物作成事業費等 の減
④ 事 務 費 支 出	1,400	1,497	△ 97	
⑤ 人 件 費 支 出	79,612	76,924	2,688	人事異動による増
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	82,490	91,386	△ 8,896	ホームページの運営事業 費等の減
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	5,000	5,000	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
(5) その他事業費支出	2,595	2,719	△ 124	
① 賛 助 会 員 向 け 事 業 費 支 出	1,599	1,599	0	
② 職 員 の 研 修 事 業 費 支 出	996	1,120	△ 124	普通旅費等の減
(6) 管理費支出	38,841	50,429	△ 11,588	
① 会 議 費 支 出	666	386	280	使用料賃借料等の増
② 事 務 費 支 出	14,389	14,178	211	負担金等の増
③ 事 務 所 移 転 費 支 出	0	11,928	△ 11,928	事務所移転費の減
④ 人 件 費 支 出	23,786	23,937	△ 151	時間外勤務手当等の減
事業活動支出計	352,454	373,948	△ 21,494	
事業活動収支差額	△ 4,000	5,000	△ 9,000	
II 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	5,000	5,000	0	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	5,000	5,000	0	
財務活動収入計	5,000	5,000	0	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	0	9,000	△ 9,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	0	9,000	△ 9,000	広島市へのコンベンション開催準備資金借入金返済支出の減
財務活動支出計	0	9,000	△ 9,000	
財務活動収支差額	5,000	△ 4,000	9,000	
III 予備費支出	1,000	1,000	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	14,487	9,912	4,575	
次期繰越収支差額	14,487	9,912	4,575	

収 支 予 算 書 内 訳 表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基 本 財 産 利 息 収 入	11,641	761	722		13,124
会費収入					
賛 助 会 費 収 入	8,952	1,384	660		10,996
事業収入	2,570	450			3,020
広 告 収 入	2,570				2,570
負 担 金 収 入		450			450
補助金収入					
広 島 市 補 助 金 収 入	199,821		38,459		238,280
受託事業収入					
広 島 市 受 託 事 業 収 入	73,009	9,481			82,490
雑収入					
雑 収 入	544				544
事業活動収入計	296,537	12,076	39,841	0	348,454

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
MICE振興事業費支出	128,987				128,987
情報収集事業費支出	1,824				1,824
MICEの誘致・支援事業費支出	48,462				48,462
広報・宣伝事業費支出	4,634				4,634
調査・企画事業費支出	637				637
事務費支出	972				972
人件費支出	72,458				72,458
観光振興事業費支出	94,541				94,541
観光客の受入態勢整備事業費支出	1,083				1,083
観光資源整備・開発事業費支出	3,269				3,269
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	9,177				9,177
事務費支出	1,400				1,400
人件費支出	79,612				79,612
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	73,009	9,481			82,490
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	5,000				5,000
その他事業費支出		2,595			2,595
賛助会員向け事業費支出		1,599			1,599
職員の研修事業費支出		996			996
管理費支出			38,841		38,841
会議費支出			666		666
事務費支出			14,389		14,389
人件費支出			23,786		23,786
事業活動支出計	301,537	12,076	38,841	0	352,454
事業活動収支差額	△ 5,000	0	1,000	0	△ 4,000

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	5,000				5,000
コンベンション開催準備 資金借入金収入	5,000				5,000
財務活動収入計	5,000	0	0	0	5,000
2 財務活動支出					
借入金返済支出					0
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	5,000	0	0	0	5,000
III 予備費支出			1,000		1,000
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	4,572	20,809	△ 10,894	0	14,487
次期繰越収支差額	4,572	20,809	△ 10,894	0	14,487